

仕事始め その1

本日から、令和2年の仕事が始まりました。9日間の学校閉庁日から、しばらくぶりに生徒たちが登校する姿を見ると心なごみますし、これがないと学校ではないとつくづく思います。

それぞれの部活動は、それぞれにこの冬季休業中の時間を有効に生かしたと思います。3年生も、1・2年生も、学習時間の確保をそれぞれに心がけたと思います。本日から、県教育委員会のアドバンスセミナーが百年記念館で行われます。

1年生を対象に、3月に、オールリーダープロジェクトと称して、国立磐梯青少年の家で、県内各地区の1年生希望者が集合し、国語と英語と数学の学習を、3泊4日で予備校講師のゼミと高校教員のゼミと外部講師のゼミを行っている行事があるのですが、その延長版ということで、2年生を対象に、いわき地区の各高等学校の希望者に対して、同じようなゼミ形式で、2日間にわたって行う行事です。他校の生徒の希望者も参加し、2日間学習に勤しみます。

本校の百年記念館は、それこそその名の通り、創立百年を記念して、合宿もでき、学習もできる施設として、2階建てで学習のための教室や40畳の畳の部屋等を2階に持ち、1回は食堂やふろやトレーニング室なども備え、平成8年に建造されました。また、同じく創立百年を記念して、学校がある高月の地から好間方面に岡を下ったあたりに、約2万平米のグラウンドを作りました。(今回の台風で、2メートルの水に没したのが、このグラウンドです。)

創立110周年記念には、その隣に、吹奏楽部の練習場所として、同じく2階建てで吹奏楽部の練習場を建設しました。この建物をピークスと呼んでいます。近隣の騒音対策のために、吹奏楽部の練習場所は急務でしたので、当時の校長先生が骨を折ってくれたのを思い出します。

磐城高校では、このほかに、予備校講師によるハイレベル講座とか、学年の先生方による毎日放課後の学習会とか、様々な手立てを構築しているところです。医学部や難関大学への進学を目途とする手立ての構築は、本質的などころからも手を詰めなければなりません。様々な議論を基に、部活動において課題をもって個別研究を継続しながら、タブレットを使ったプレゼン学習の深化や、イノベーションハイスクールの事業を生かして、新入試に対応できる人材育成や、NPOと連携した校外学習など、考えられることは次々と実行しております。

さらには、令和4年入学生からの新学習指導要領に対応した教育課程を作り、単位制の導入やコース制の導入を考えてまいります。

基本は、教員と生徒の対話を通じた深い学びの実践ですが、刺激を常に与えられる学習を通して、磐城高校のレゾンデートルを守っていく所存です。